

令和6年度動物実験に関する自己点検・評価報告書

和歌山県立医科大学

2026年3月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 和歌山県立医科大学における動物実験等の実施に関する規程、和歌山県立医科大学動物実験施設利用規程、和歌山県立医科大学伏虎動物実験施設利用規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程等が定められている。規程は、関連法規に則っており、研究機関の長の責務、動物実験委員会、動物実験の実施方法、実験動物の飼養及び保管、動物実験等の実施施設及びその維持管理、教育訓練、基本指針への適合性に関する自己点検・評価及び検証及び情報公開について定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特に改善を要するところはない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 和歌山県立医科大学における動物実験等の実施に関する規程、令和6年度動物実験に関する現況調査票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「和歌山県立医科大学における動物実験等の実施に関する規程」に定められており、現況調査票にも委員会構成が報告されている。 委員会については、学長の下に動物実験委員会（親会）を設置し、紀三井寺キャンパス及び伏虎キャンパスに部会を置いている。部会は各キャンパスにおける事項を管轄し、親会は大学としての統一的な基準の整理及び全学的な観点からの調査・審議を担う体制としている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特に改善を要するところはない。

3. 動物実験の実施体制

(1) 紀三井寺キャンパス

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 和歌山県立医科大学における動物実験等の実施に関する規程及び様式第1～5号、補助様式（胚凍結・個体復元依頼書、CRISPR ゲノム編集マウス作製依頼書）、和歌山県立医科大学動物実験施設利用規程及び様式第1～3号、動物実験と施設の利用、保健看護学部及び薬学部教室の医学部動物実験施設の利用について
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験の実施に必要な動物実験規程等及び各種申請書様式等が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特に改善を要するところはない。

(2) 伏虎キャンパス

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 和歌山県立医科大学における動物実験等の実施に関する規程及び様式第1～5号、和歌山県立医科大学動物実験施設利用規程及び様式1～3号
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「和歌山県立医科大学における動物実験等の実施に関する規程」等に定められており、動物実験委員会の親委員会とともに動物実験委員会（伏虎部会）も設置され、各委員会活動についても規定されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特に改善を要するところはない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(1) 紀三井寺キャンパス

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 和歌山県立医科大学医学部ラジオアイソトープ実験施設放射線障害予防規程、和歌山県立医科大学研究用微生物安全管理規程、和歌山県立医科大学遺伝子組換え実験安全管理規程、公立大学法人和歌山県立医科大学安全衛生管理規程、和歌山県立医科大学感染性医療廃棄物管理規程、研究施設における麻薬取扱いの手引き、和歌山県立医科大学薬学部医薬用外毒物劇物危害防止管理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程等により安全管理に注意を払うべき実験について規定されており、それに基づいて実施されている
4) 改善の方針、達成予定時期 特に改善を要するところはない。

(2) 伏虎キャンパス

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験に関連する規程およびマニュアル類 和歌山県立医科大学における動物実験等の実施に関する規程、和歌山県立医科大学伏虎動物実験施設利用規程、伏虎動物実験施設利用マニュアル 安全管理に関わる規程類 和歌山県立医科大学研究用微生物安全管理規程、和歌山県立医科大学遺伝子組換え実験安全管理規程、公立大学法人和歌山県立医科大学安全衛生管理規程、和歌山県立医科大学感染性廃棄物管理規程、研究施設における麻薬取扱いの手引き その他の資料 感染動物実験における安全対策（国立大学動物実験施設協議会編）、利用者会議資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 通常飼育室（C-S P F、S-S P F）においては安全管理に注意を払うべき動物実験の実施体制を定めており、これに基づいて実施されている。感染区域については、利用開始に向けて安全管理にかかる利用規定と細則を準備中である。
4) 改善の方針、達成予定時期 感染区域について、その利用規定と細則を準備中である。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(1) 紀三井寺キャンパス

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 規程類 和歌山県立医科大学における動物実験等の実施に関する規程、和歌山県立医科大学動物実験施設利用規程、動物実験と施設の利用 飼育等マニュアル 感染実験飼育室の使用にあたって、飼育管理作業の手順等、事故後処理マニュアル、動物逃亡時マニュアル、人獣共通感染症事故対応マニュアル 飼養保管施設・実験室の登録状況 飼養保管施設設置申請書、動物実験室設置申請書、施設等廃止届、飼養保管施設・実験室一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程等に定められている。また確認に必要な各種書式等も適正に定められている。飼養保管に関する作業手順書、不測の事態への対応マニュアルも整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特に改善を要するところはない。

(2) 伏虎キャンパス

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 規程類 和歌山県立医科大学における動物実験等の実施に関する規程、和歌山県立医科大学・伏虎動物実験施設利用規程、動物実験と施設の利用 飼育等マニュアル 飼育管理作業の手順等、伏虎動物実験施設利用マニュアル、事故後処理マニュアル、動物逃亡時マニュアル 飼養保管施設・実験室の登録状況 飼養保管施設設置申請書、動物実験室設置申請書、施設等廃止届、飼養保管施設・実験室一覧

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼養保管施設は「和歌山県立医科大学における動物実験等の実施に関する規程」に規定され、適切な管理がなされ、かつ施設管理者が置かれている。

本学では、承認された飼養保管施設以外の場所で飼育されたことはない。

4) 改善の方針、達成予定時期

特に改善を要するところはない。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験委員会議事録、動物実験委員会名簿（現況調査票）、動物実験計画書および審査記録・動物実験結果報告書、動物実験計画の実施状況に関する報告（様式 2-1 準拠）、動物実験室の管理に関する報告、飼養保管施設の管理に関する報告（様式 2-2 準拠）、動物実験に関する現況調査票、動物実験に関する自己点検・評価報告書、その他報告

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

（1）全ての動物実験について動物実験計画が提出され、動物実験委員会の審査が行われ、必要に応じて助言指導を行い、承認の是非を判断している。動物実験計画の終了・中止に当たっては、動物実験結果報告書が提出され、計画書との齟齬や成果について確認している。矛盾点、不備等あれば指摘し、修正させている。

（2）全ての動物実験責任者より「動物実験計画の実施状況に関する報告」が提出されており、必要に応じて助言指導をしている。

（3）全ての飼養保管施設及び動物実験のための実験室について申請が出され、審査及び実地調査を行い、承認されている。全ての飼養保管施設及び動物実験室保有教室より「飼養保管施設の管理に関する報告」、または「動物実験室の実施状況に関する報告」を提出させ、必要に応じて助言指導をしている。

（4）自己点検評価のため「動物実験に関する現況調査票」及び「動物実験に関する自己点検・評価報告書」（本報告書）が作成されている。本報告書を元に情報公開を行っている。

（5）動物実験実施に関する案件については随時協議あるいは報告している。

<p>学長の下に動物実験委員会（親会）を設置し、紀三井寺キャンパス及び伏虎キャンパスに部会を置いている。部会は各キャンパスにおける事項を管轄し、親会は大学としての統一基準を定め、調査審議を行っている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 特に改善を要するところはない。</p>

2. 動物実験の実施状況

(1) 紀三井寺キャンパス

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>令和6年度における動物実験計画書および審査記録・動物実験結果報告書、動物実験計画の実施状況に関する報告、動物実験計画、動物実験室の管理に関する報告、飼養保管施設の管理に関する報告</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画書を審査し、学長の承認を得るとともに、すべての動物実験計画、動物実験室、飼養保管施設に関する自己点検票により動物実験の実施状況を把握した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 特に改善を要するところはない。</p>

(2) 伏虎キャンパス

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>(1) 動物実験計画に関する書類</p> <p>令和6年度における動物実験計画書および審査記録、動物実験終了・中止報告書、動物実験計画の実施状況に関する報告書、動物実験計画、飼養保管施設、動物実験室に関する各種報告書</p> <p>(2) 動物実験計画の実施状況</p> <p>令和6年度中に新規に承認された動物実験計画の一覧、令和6年度末に継続中の動物実験計画の一覧、令和6年度中に終了もしくは中止された動物実験計画の一覧、令和6年度中に実施された安全管理を要する動物実験計画の一覧</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p>

<p>(1) 全ての動物実験について動物実験計画が提出され、動物実験委員会の審査が行われ、必要に応じて助言指導を行い、承認の是非を判断している。動物実験計画の終了・中止に当たっては、動物実験終了・中止報告書が提出されている。</p> <p>(2) 全ての動物実験責任者より「動物実験計画の実施状況に関する報告」が提出されており、必要に応じて助言指導をしている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 特に改善を要するところはない。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

(1) 紀三井寺キャンパス

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>令和6年度中に実施された安全管理を要する（遺伝子組換え実験含む）動物実験計画の一覧データ、鍵貸与証（感染実験域を含む）、オートクレーブの法定定期検査記録およびオートクレーブの自主点検記録、オートクレーブの運転記録（特に感染実験室）、安全キャビネットの定期点検記録、感染実験域使用に関する教育訓練（資料と受講記録）、第1・第2感染実験飼育室入室記録表、修理等の記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画の審査段階で、遺伝子組換え実験計画の承認・申請内容書類、感染実験の内容、毒劇物など危険な薬剤及びラジオアイソトープの使用の有無、それらの安全対策などの法令適合を確認した。令和6年度にラジオアイソトープ使用実験は実施されなかった。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 特に改善事項はない。</p>

(2) 伏虎キャンパス

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>令和6年度中に実施された安全管理を要する（遺伝子組換え実験含む）動物実験計画の一覧データ、オートクレーブの法定点検検査記録およびオートクレーブの自主点検記録、オートクレーブの運転記録</p>

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験計画の審査段階で、遺伝子組換え実験計画の承認・申請内容書類、毒劇物など危険な薬の有無、それらの安全対策など全てについてチェックしている。また、実施段階においては、実験実施者と協議しながら安全管理に努めている。

4) 改善の方針、達成予定時期

感染区域に防音室や安全キャビネットを設置し、感染実験を安全に実施できる体制を整えた。

4. 実験動物の飼養保管状況

(1) 紀三井寺キャンパス

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

令和6年度における動物実験に関する現況調査票、飼養保管施設の管理に関する報告、動物実験室の実施状況に関する報告、動物実験施設利用登録申請書、実験動物購入記録、飼育記録（飼育動物一覧、ラック飼育一覧）、新規動物導入に関する書類、微生物モニタリング結果、購入先の検疫記録、入館記録（カードリーダー）、在庫一覧（飼料、消耗品等）、オートクレーブの運転記録、修理記録、温湿度、静圧の記録、機器の使用記録、実験室の使用記録、学外搬出記録、動物実験施設作業日誌

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼養動物の搬出・搬入に関する記録が残されている。飼養保管に関する作業についての日誌等を残すことで飼育状況を把握している。微生物モニタリングを定期的に行っている。動物施設内の実験室および共通機器の使用履歴を把握している。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし

(2) 伏虎キャンパス

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

令和6年度動物実験に関する現況調査票（伏虎動物実験施設）、伏虎動物実験施設利用登録申請書、実験動物購入・飼育依頼状および動物購入記録（購入一覧）、飼育記録（飼育動物一覧）、新規動物導入に関する書類、微生物モニタリング結果、検疫記録、伏虎動物実験施設入退者管理記録（カードリーダー）、在庫一覧（飼料、消耗品等）、オートクレーブの始業前点検記録、環境管理記録（温湿度、

室圧差圧、照度、臭気、騒音)、動物の搬入記録、動物の搬出記録、伏虎動物実験施設の作業日誌
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。 伏虎動物実験施設においては、各種のマニュアル類が揃っており、飼育管理日誌等の記録が適正に残されている。また、微生物モニタリングを定期的に行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 1部ヘリコバクターの感染が見られたので、今年、令和7年度よりその駆除を進めている。

5. 施設等の維持管理の状況

(1) 紀三井寺キャンパス

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 令和6年度における飼養保管施設設置承認申請書、飼養保管施設の管理に関する報告、動物実験室の実施状況に関する報告、飼養保管施設一覧、動物実験施設入退者管理記録、温湿度、静圧の記録・自記温度計記録、飼料、空調定期点検報告書(年2回)(*）、空調機洗浄報告書(年1回)(*）、消耗品の在庫記録、第一種圧力容器検査受け整備作業報告書 (*)本学管理課にて保管
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。 施設の設置時に動物実験規程が求める設置基準を満たしている。経年劣化による床エポキシ塗装のヒビ割れや剥がれ、老朽化していた空調システムについては、2023年に補修・更新が行われ、現在は適正に維持されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

(2) 伏虎キャンパス

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管施設設置申請書、飼養保管施設一覧、伏虎動物実験施設入退者管理記録(カードリーダー)、環境管理記録(温湿度、室圧差圧、照度、臭気、騒音)、飼料・空調定期点検報告書、消耗品の購入記録、オートクレーブの法定定期検査記録

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

施設の設置時に動物実験規程が求める設置基準を満たしている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特に改善を要するところはない。

6. 教育訓練の実施状況

(1) 紀三井寺キャンパス

1) 評価結果

基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験に関する教育訓練の配布資料「実験動物と施設の利用」およびスライド、令和6年度教育訓練開催記録(出席者名簿)、飼育員を対象とする教育実施記録、公私立大学実験動物施設協議会実験動物管理者教育訓練修了証

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

利用者向けの教育訓練の実施記録によって基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認した。飼育員への教育訓練(月1回)が実施されていることを実施記録により確認した。また実験動物管理者は、公私立大学実験動物施設協議会・管理者教育訓練(令和6年6月29日)を受講した。

4) 改善の方針、達成予定時期

特に改善を要する事項はない。

(2) 伏虎キャンパス

1) 評価結果

基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

① 伏虎動物実験施設利用講習会資料

利用講習会実施記録(受講者名簿)、利用講習会等の資料

② 飼育員対象のミーティング等資料

業務月報(飼育管理担当会社とのミーティング記録)、飼育管理担当会社の教育実施記録、飼育管理担当会社の名簿(令和6年度)

③ 実験動物管理者の教育訓練

<p>公私立大学実験動物施設協議会主催「実験動物管理者の教育訓練修了証」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>① 動物実験実施者対象の教育訓練</p> <p>利用講習会（教育訓練）として、動物実験の開始時に動物実験規程及び利用規則を中心に、3R、安楽死、苦痛のカテゴリーなどの解説、人獣共通感染症、施設の案内、利用方法などの教育を行っている。その後、動物実験や関連法規に関するテストを受講させて、合格者のみに利用許可を与えている。加えてすべての新規利用者に対し、施設案内とともに、入域指導を行っている。</p> <p>② 飼育員対象の教育訓練</p> <p>週1回のミーティングにおいて、規則や種々の資料の説明、話題などを通して、情報共有と教育訓練を行っている。また適宜、作業に関連した事項について指示している。</p> <p>③ 実験動物管理者の自己研鑽および教育訓練</p> <p>実験動物管理者は、公私立大学実験動物施設協議会、教育・研修委員会主催研修会「実験動物管理者のための教育訓練」を受講した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特に改善を要する事項はない。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>令和6年度動物実験に関する現況調査票、令和6年度動物実験に関する自己点検・評価報告書(本報告書)、大学ホームページ(http://www.wakayama-med.ac.jp/shisetsu/doubutu.html)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>本学における動物実験に関して自己点検・評価を行い、大学ホームページ上で情報を公開している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特に改善を要する事項はない。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

--